

単相3線オプションを利用したローコストマルチ出力大容量三相交流電源

老朽化更新や新規設備導入において、安全面の観点や物理的な問題から設置スペースの削減が求められております。交流電源においても三相、単相各々設置せず、マルチに出力可能な電源タイプの要求が増えつつあります。

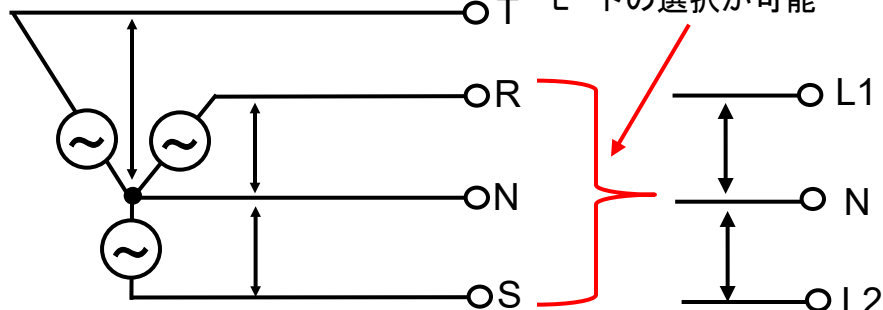
力率改善回路を削除した6300シリーズと単相3線出力オプション(Opt.637)を用いることで、ローコストに三相4線/3線、単相3線/2線のマルチ出力化が可能です。

テストイメージ



6330背面

標準出力(三相4線/3線)



R相とS相の位相差を180度、N相を中点

大容量プログラマブル交流電源
6300シリーズ

6330	Lowレンジ(線電圧) 最大出力	Highレンジ(線電圧) 最大出力
三相3線出力時	260Vrms(L-L間)/84Arms/30kVA	520Vrms(L-L間)/42Arms/30kVA
三相4線出力時	260Vrms(L-L間) /84Arms/30kVA	520Vrms(L-L間)/42Arms/30kVA
単相3線出力時*	300Vrms(L-L間) /84Arms/20kVA	600Vrms(L-L間) /42Arms/20kVA

*200V設定時は三相定格容量の56%出力可能です

6330(30kVAモデル)単相3線出力オプション追加時の出力電圧と容量の関係

特長

6300シリーズ

- ・力率改善回路(PFC)を削除したローコスト版を10kVA~240kVAをラインナップ
- ・AVR(自動電圧調整器)と同価格帯で通信制御可能なVVVF電源
- ・容量モデル別に一体型とすることで、小型・軽量を実現